

SHONAN 景況レポート

No.168

湘南、三浦地域を中心に神奈川県内と東京都内一部の中小零細企業261社（資本金200万円以下）を対象に2025年3月7日実施した中小企業短期景況観測調査で全営業店長が直接企業主に面接して2025年1～3月の現況と2025年4～6月の業況予測を開示してもらい、まとめた。横須賀市内中小企業については、横須賀市並びに同市産業振興財団とかながわ信用金庫を加えた4者による合同調査を実施し、結果をレポートに反映させた。

【概況】

全産業の総合景況判断指数（業況が「良い」から「悪い」を引いた値）はプラス9で前回調査（2024年12月6日）から7ポイント悪化した。産業別の内訳は、製造業は16ポイント、建設業は9ポイントそれぞれ悪化、卸・小売業は

1ポイント、不動産業は6ポイントそれぞれ改善、サービス業は15ポイント悪化した。産業全体の業況DI（総合景況判断指数・前回調査比）は「良い」の2ポイントが「変わらず」へ、「変わらず」の5ポイントが「悪い」へ移行した。円安や天候不順などによる物価の高止まりが長期化して賃上げ効果を打ち消し、特に食料品関連の高騰が景気の腰折れを招いている。日本銀行の早過ぎる金融引き締め政策も景気回復のマイナス効果となった。労働力の高齢化や人手不足はどの業種でも共通した課題となっている。産業別で見ると、製造業は前回調査のプラス16ポイントから16ポイント悪化し、プラスマイナス0となった。「良い」の3ポイントが「変わらず」へ、「変わらず」の13ポイントが「悪い」へ移行した。米国トランプ大統領による関税政策やウクライナや中東の地政学リスクの高まりで景気回復は失速した。建設業は前回調査のプラス27ポイントから9ポイント悪化し、プラス18ポイントとなった。「良い」の4ポイントが「変わらず」へ、「変わらず」の5ポイントが「悪い」へ移行した。仕事量は増加しているものの、人手不足が解消されずに受注を見送るケースもある。卸・小売業は前回調査のプラス2ポイントから1ポイント改善し、プラス1ポイントとなった。「良い」の2ポイントと「悪い」の3ポイントが「変わらず」へ移行した。物価高が手取り額の増加を上回り、消費拡大にプレッシャーがかかった。不動産業は前回調査のプラス21ポイントから6ポイント改善し、プラス27ポイントとなった。「変わらず」の9ポイントが「良い」へ、「変わらず」の3ポイントが「悪い」へ移行し

た。人気がアヤや優良物件は引き続き好調。仕入が難しく、金利上昇懸念からエンドユーザーも様子見の傾向がある。サービス業は前回調査のプラス19ポイントから15ポイント悪化し、プラス4ポイントとなった。「良い」の8ポイントが「変わらず」へ、「変わらず」の7ポイントが「悪い」へ移行した。物価高や政治の不安定などが消費意欲にも影響した。

た。人気がアヤや優良物件は引き続き好調。仕入が難しく、金利上昇懸念からエンドユーザーも様子見の傾向がある。サービス業は前回調査のプラス19ポイントから15ポイント悪化し、プラス4ポイントとなった。「良い」の8ポイントが「変わらず」へ、「変わらず」の7ポイントが「悪い」へ移行した。物価高や政治の不安定などが消費意欲にも影響した。

【製造業】

1～3月上げは前年比3%増加。今後、主要取引先からの安定受注が見込まれているが業況改善には今しばらく時間を要す。4～6月上げは前年比3%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比5%増加。大規模リフォーム工事と合わせて小口のリフォーム工事を多数受注した。新築工事の引き合いはあるものの契約には至らず、今後も小口工事を多数取り組むことに対応していく。4～6月上げは前年比10%減少を見込む。（横須賀・南部地区）

3%増加。主要受注先の海外工場閉鎖で国内での増産体制となったがまだ好影響は出ていない。得意なエンジン・バッテリーに関しても排ガス規制に対応可能な商品であることから4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比5%増加。大規模リフォーム工事と合わせて小口のリフォーム工事を多数受注した。新築工事の引き合いはあるものの契約には至らず、今後も小口工事を多数取り組むことに対応していく。4～6月上げは前年比10%減少を見込む。（横須賀・南部地区）

【建設業】

1～3月上げは前年比4%増加。集合住宅の外壁塗装工事を中心に受注が増加している。年度末にかけて新築戸建や個人宅の塗装依頼もあつた。春先は新築戸建の受注件数が少なくなるため、中古マンション等の修繕にかかる塗装などを手掛け、4～6月上げは前年比横這いを見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比5%増加。材料費高騰や賃上げによる人件費・運送コスト増加など利幅に影響を及ぼしている。現状価格転嫁因があるが、現状価格転嫁できていないことから今後も取引先との価格交渉を継続する。4～6月上げは前年比3%増加を見込む。（横須賀・南部地区）

1～3月上げは前年比20%減少。インターネット

1～3月上げは前年比20%減少。インターネット

【卸・小売業】

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比横這い。一昨年に値上げを行ったことで客数減少し、客足が戻ってこない状況。春以降は増加する行楽利用の顧客との会話を積極的にを行い、リピート率を上げる努力をしている。4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

【不動産業】

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

1～3月上げは前年比横這い。材料費高騰による価格上昇、トランプ米大統領就任による景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子うかがっている。価格相場の動向に注意して商品を見極めながら、4～6月上げは前年比5%増加を見込む。（横須賀・北部地区）

中小企業短期 景況観測調査

産業別	全 体			横須賀 (全体)			製 造 業			建 設 業			卸・小売業			不 動 産 業			サ ー ビ ス 業			産業別
	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	2024.12	2025.03	2025.06 見込み	
業 況(全産業)	30	28	27	24	22	19	24	21	21	36	32	26	28	26	20	25	34	38	37	29	29	業 況(全産業)
良 い (A)	56	53	56	55	51	56	68	58	53	55	54	60	42	47	59	71	59	59	45	46	52	業 況(全産業)
変 わ ら ず	14	19	17	21	27	25	8	21	26	9	14	14	30	27	21	4	7	3	18	25	19	業 況(全産業)
悪 い (B)	16	9	10	3	-5	-6	16	0	-5	27	18	12	-2	-1	-1	21	27	35	19	4	10	業 況(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
生 産・売 上 額(全産業)	30	30	26	28	25	21	27	23	18	31	40	26	34	26	21	21	31	34	39	31	31	生 産・売 上 額(全産業)
好 転 (A)	55	48	54	49	41	48	55	49	47	59	44	60	39	45	53	75	62	63	43	38	50	生 産・売 上 額(全産業)
変 わ ら ず	15	22	19	23	34	31	18	28	35	10	16	14	27	29	26	4	7	3	18	31	19	生 産・売 上 額(全産業)
悪 い (B)	15	8	7	5	-9	-10	9	-5	-17	21	24	12	7	-3	-5	17	24	31	21	0	12	生 産・売 上 額(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
在 庫(製造業)	4	4	0	0	0	0	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	在 庫(製造業)
過 大~やや過 大 (A)	92	96	100	100	100	100	92	96	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	在 庫(製造業)
適 正	4	0	0	0	0	0	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	在 庫(製造業)
や や 少 な 目 (B)	0	4	0	0	0	0	0	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	在 庫(製造業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
雇 用 人 員(全産業)	1	1	1	2	6	1	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	4	雇 用 人 員(全産業)
過 剩 (A)	75	70	73	63	61	65	78	70	77	57	58	63	73	78	80	89	83	86	78	63	58	雇 用 人 員(全産業)
適 正	24	29	26	35	38	34	20	30	23	41	42	37	27	21	20	11	17	14	20	35	38	雇 用 人 員(全産業)
不 足 (B)	-23	-28	-25	-33	-32	-33	-18	-30	-23	-39	-42	-37	-27	-20	-20	-11	-17	-14	-18	-33	-34	雇 用 人 員(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
資 金 繰 り(全産業)	12	8	7	14	11	9	22	11	9	16	7	7	13	7	4	7	7	7	2	8	6	資 金 繰 り(全産業)
楽 である (A)	74	78	78	68	69	68	62	73	68	74	77	79	62	67	70	89	93	93	84	79	79	資 金 繰 り(全産業)
さ ぼ ど 苦 し くない	14	14	15	18	20	23	16	16	23	10	16	14	25	26	26	4	0	0	14	13	15	資 金 繰 り(全産業)
苦 し い (B)	-2	-6	-8	-4	-9	-14	6	-5	-14	6	-9	-7	-12	-19	-22	3	7	7	-12	-5	-9	資 金 繰 り(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
金 融 機 関 の 貸 出 態 度(全産業)	10	7	5	6	2	2	13	11	7	11	6	6	8	8	8	14	9	4	3	0	0	金 融 機 関 の 貸 出 態 度(全産業)
ゆ る い (A)	83	91	92	82	94	94	70	89	89	89	94	94	79	82	82	86	91	96	94	97	97	金 融 機 関 の 貸 出 態 度(全産業)
さ ぼ ど 苦 し くない	7	3	3	12	4	4	17	0	4	0	0	0	13	10	10	0	0	0	3	3	3	金 融 機 関 の 貸 出 態 度(全産業)
き び し い (B)	3	4	2	-6	-2	-2	-4	11	3	11	6	6	-5	-2	-2	14	9	4	0	-3	-3	金 融 機 関 の 貸 出 態 度(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
収 益(全産業)	20	19	18	20	17	15	20	18	18	21	26	19	18	16	14	21	24	28	22	10	10	収 益(全産業)
良 い (A)	62	58	62	55	50	54	60	54	50	65	55	63	54	50	60	75	73	72	56	61	63	収 益(全産業)
変 わ ら ず	18	23	20	25	33	31	20	28	32	14	19	18	28	34	26	4	3	0	22	29	27	収 益(全産業)
悪 い (B)	2	-4	-2	-5	-16	-16	0	-10	-14	7	7	1	-10	-18	-12	17	21	28	0	-19	-17	収 益(全産業)
(A) - (B)																						(A) - (B)
調 査 企 業 数 (社)	257	261	261	153	150	150	49	57	57	58	57	57	71	70	70	28	29	29	51	48	48	調 査 企 業 数 (社)

調査項目の在庫(製造業)並びに金融機関の貸出態度(全産業)は当金庫だけの調査である。

